

## NBハイクオリティ・マネジャーズ・ファンド (為替ヘッジなし) - 予想分配金提示型 -

追加型投信/内外/資産複合/特殊型(絶対収益追求型)

第18期 2019年4月8日決算 第19期 2019年7月8日償還  
作成対象期間 (2019年1月9日~2019年7月8日)

第19期末 (償還日 2019年7月8日)	
償還価額	9,205円41銭
純資産総額	3百万円
第18期~第19期	
騰落率	+4.7%
分配金合計	0円

### 受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

このたび「NBハイクオリティ・マネジャーズ・ファンド(為替ヘッジなし) - 予想分配金提示型 -」は、信託約款の規定に基づき、2019年7月8日をもって信託を終了し、満期償還いたしました。

当ファンドは、主として円建て外国投資証券への投資を通じて、世界の株式、債券および各種派生商品(デリバティブ)等に実質的に投資を行い、複数の運用戦略を活用することで、株式や債券市場に左右されにくい収益の獲得を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

◆運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ  
フリーダイヤル 0120-88-2976  
受付時間：午前9時~午後5時(土、日、祝・休日を除く)

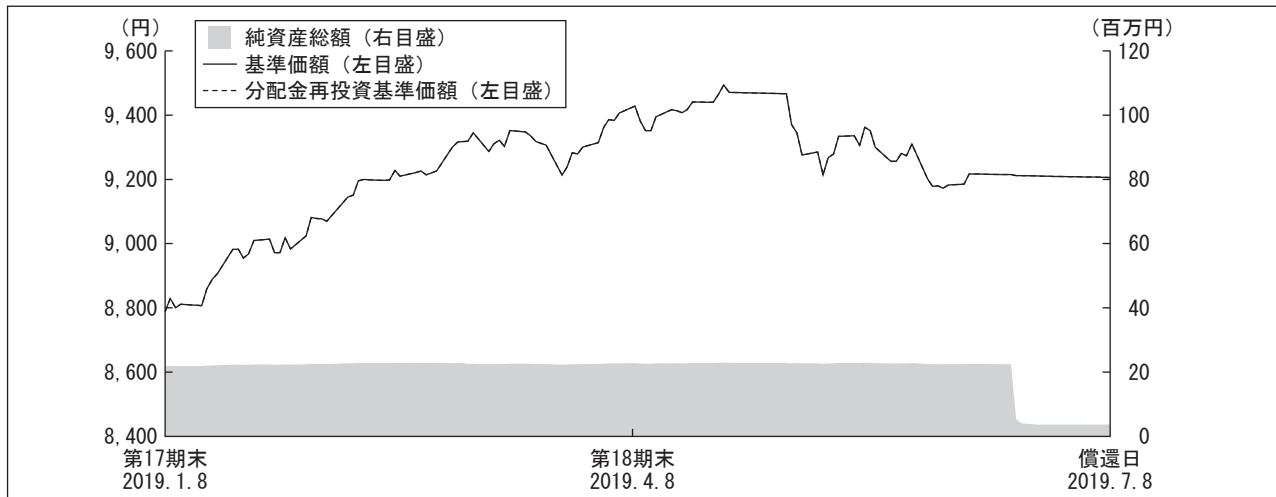


三井住友DSアセットマネジメント

(旧：大和住銀投信投資顧問)  
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 運用経過

## 【基準価額等の推移】



\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第18期首： 8,788円

償還日： 9,205円41銭（作成対象期間における期中分配金合計額 0円）

騰落率： +4.7%（分配金再投資ベース）

## 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、ニューバーガー・バーマン・アブソリュート・リターン・マルチ・ストラテジー・ファンド JPY D ディストリビューティング・アンヘッジド・クラスへの投資を通じて、世界の株式、債券および各種派生商品（デリバティブ）等を実質的に投資を行い、複数の運用戦略を活用しました。

（上昇要因）

戦略別にみると、株式ロング・ショート戦略、イベント・ドリブン戦略、資産担保付証券戦略、グローバル・マクロ戦略、合併アービトラージ戦略、CTA/マネージド・フューチャーズ戦略がそれぞれプラスに寄与したことが上昇要因となりました。組入マネージャー別でみると、イベント・ドリブン戦略のPortland Hill Capital、CTA/マネージド・フューチャーズ戦略のBHDG、株式ロング・ショート戦略のCramer Rosenthal McGlynnなどがプラスに寄与しました。また、作成期初から4月頃まではドル円レートが円安に推移したことが、パフォーマンスを押し上げました。

（下落要因）

5月以降にドル円レートが円高に推移したことが、パフォーマンスを押し下げました。

## 【1万口当りの費用明細】

項目	第18期～第19期		項目の概要
	2019年1月9日～2019年7月8日		
	金額	比率	
信託報酬	57円	0.616%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は9,255円です。
（投信会社）	(19)	(0.201)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(37)	(0.402)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.013)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	0	0.000	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（その他）	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	57	0.616	

\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

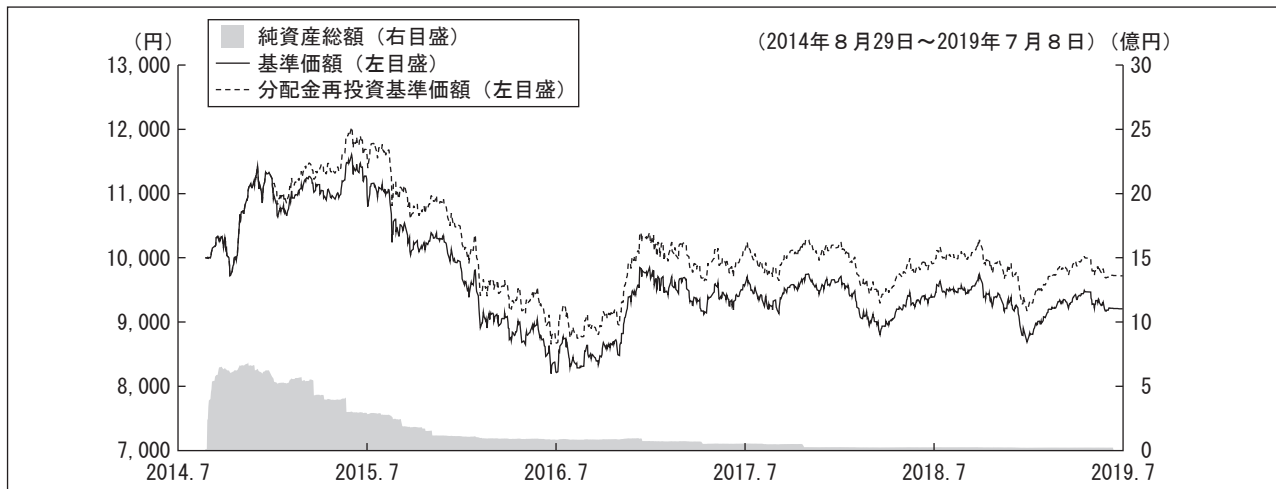
\* 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

\* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

## 【最近5年間の基準価額等の推移】



\*当ファンドの設定日（2014年8月29日）より表示しております。

\*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2014年8月29日 設定日	2015年1月8日 決算日	2016年1月8日 決算日	2017年1月10日 決算日	2018年1月9日 決算日	2019年1月8日 決算日	2019年7月8日 償還日
基準価額 (円)	10,000	10,913	9,671	9,781	9,710	8,788	9,205.41
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	200	400	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	11.1	△ 8.1	1.1	△ 0.7	△ 9.5	4.7
純資産総額 (百万円)	10	559	109	73	26	21	3

## 【投資環境】

当作成期の米国株式市場は上昇しました。作成期初から5月初めにかけては、世界経済に対する過度な懸念が後退したことや、1月のFOMC（米連邦公開市場委員会）でFRB（米連邦準備制度理事会）が今後の利上げに関し様子見をすることやバランスシートの縮小を早期に終了させる可能性が示唆され、金融政策に対する不安感が後退したこと、米中通商協議の進展への期待、主要企業の1-3月期決算が概ね好調な内容となったことなどを背景に株式市場は概ね上昇基調で推移しました。5月に入ると、米国・中国双方が関税の引き上げを発表するなど米中貿易摩擦の激化への懸念が強まったこと等から、株式市場は下落に転じました。その後、パウエルFRB議長の発言内容や、6月のFOMCで示された声明文や政策金利見通しを受けて利下げ見通しが強まり、株式市場は再び上昇に転じました。

国内短期金融市場では、作成期初-0.16%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、作成期を通じて-0.10%~-0.30%での動きに終始し、-0.13%近辺で償還日を迎えました。

## 【ポートフォリオ】

### ■NBハイクオリティ・マネジャーズ・ファンド（為替ヘッジなし）ー予想分配金提示型ー

主要投資対象であるニューバーガー・バーマン・アブソリュート・リターン・マルチ・ストラテジー・ファンド JPY D ディストリビューティング・アンヘッジド・クラスを作成期を通じて組み入れました。その後、2019年7月の償還に向けて売却し、2019年7月8日に満期償還いたしました。

### ■ニューバーガー・バーマン・アブソリュート・リターン・マルチ・ストラテジー・ファンド JPY D ディストリビューティング・アンヘッジド・クラス

グローバル・マクロ/CTA/マネージド・フューチャーズ戦略については、過去に市場ボラティリティ（価格変動性）が上昇する局面でより良好なリターンを獲得してきた中、市場ボラティリティが上昇する可能性を考慮し、高めの配分としました。株式ロング・ショート戦略については、エネルギーセクター特化型戦略のマネージャーを解約し、配分比率を引き下げましたが、個別銘柄間の相関は2018年10-12月期から2019年の初めにかけて上昇したものの、その後は低下傾向をたどることを想定し、魅力的な投資機会が創出されるとの見通しから、高めの配分を維持しました。

### ■マネー・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

※設定以来の運用経過につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

**【分配金】**

分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。  
 なお、第19期につきましては、償還のため、分配は行っておりません。

**■分配原資の内訳**

(1万口当り・税引前)

項目	第18期	
	2019年1月9日 ～2019年4月8日	
当期分配金 (円)		0
(対基準価額比率) (%)		0.00
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		920

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

**お知らせ**

大和住銀投信投資顧問株式会社は、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友DSアセットマネジメント株式会社となりました。

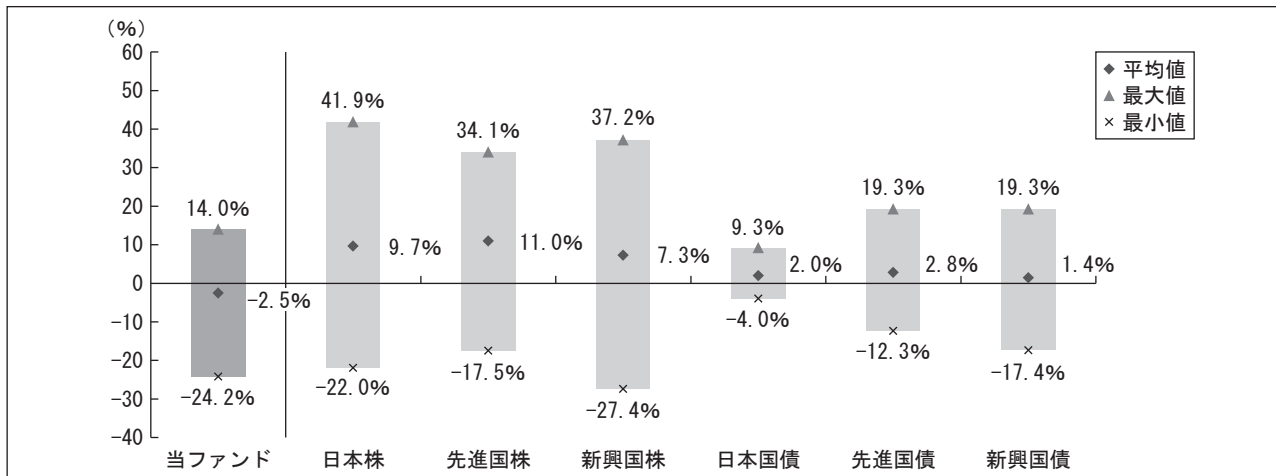
委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。(2019年4月1日付)

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）	
信託期間	2014年8月29日～2019年7月8日（約5年）	
運用方針	主として円建て外国投資証券への投資を通じて、世界の株式、債券および各種派生商品（デリバティブ）等を実質的に投資を行い、複数の運用戦略を活用することで、株式や債券市場に左右されにくい収益の獲得を目指して運用を行います。なお、親投資信託であるマネー・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。	
主要投資対象	当ファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニューバーガー・バーマン・アブソリュート・リターン・マルチ・ストラテジー・ファンド JPY D ディストリビューティング・アンヘッジド・クラス</li> <li>・マネー・マネジメント・マザーファンド受益証券</li> </ul>
	ニューバーガー・バーマン・アブソリュート・リターン・マルチ・ストラテジー・ファンド JPY D ディストリビューティング・アンヘッジド・クラス	世界の株式、債券および各種派生商品（デリバティブ）等
	マネー・マネジメント・マザーファンド	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。</li> <li>・主な投資先であるニューバーガー・バーマン・アブソリュート・リターン・マルチ・ストラテジー・ファンド JPY D ディストリビューティング・アンヘッジド・クラスでは、複数の運用会社を選定し、当該運用会社が独自の運用手法により、株式、債券および各種派生商品（デリバティブ）等へ投資を行います。</li> <li>・実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行わないため、為替変動による影響を受けます。</li> </ul>	
分配方針	<p>毎年1月、4月、7月、10月の8日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>*分配金再投資コースの場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

## 【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

当ファンド：2015年8月～2019年6月  
 代表的な資産クラス：2014年7月～2019年6月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

\*当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。

\*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

\*騰落率は直近前月末から6ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

### <各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX（配当込み）	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。



## 当該投資信託のデータ

### ≪当該投資信託の組入資産の内容≫

償還日現在、有価証券等の組み入れはありません。

### 【純資産等】

項目	第18期末	償還時
	2019年4月8日	2019年7月8日
純資産総額	22,793,736円	3,660,288円
受益権総口数	24,175,899口	3,976,237口
1万口当り基準価額（償還価額）	9,428円	9,205円41銭

\* 当作成期間中における追加設定元本額は313,549円、同解約元本額は21,187,243円です。



三井住友DSアセットマネジメント